

七二会地区

住民自治協議会だより

第7号

平成23年7月1日 発行：七二会地区住民自治協議会 総務・安全・防災部会

* * * 七二会花いっぱい運動が本格稼働 * * *

長野市の地域やる気支援補助金に申請した「七二会花いっぱい運動」が採択され48万円の補助金が付き、活動に大きな弾みがつきました。「七二会花いっぱいの会」の溝口仁一会長の下、花を活用して明るい元気な七二会を創りましょう。



花いっぱいの会に携わって

七二会花いっぱいの会会長 溝 口 仁 一

はからずも花いっぱいの会の一員に加えていただき、少しばら花に興味を持つように心がけておりましたが、一向に進化しない毎日を過ごしておりました。

そんな折、花の大師、矢澤秀成先生（NHK「趣味の園芸」講師）に巡り会い、「花を愛でる事はもとより、皆さんが集って花を育てる事によって、人々のつながりを大切にして絆を強くする。」というお話をお聞きしました。今の七二会にとって、最も大事なことだなあと、大変感動致しました。実際、仲間の皆さんと花の種をまき、花の管理をすることに大きな楽しみを得ています。

「花いっぱい」の名前のとおり、七二会中に花が咲き乱れる日の来る事を信じて、また、仲間の皆さんと、楽しく花いっぱい運動の輪がひろがるように、小さな力ではありますが続けていきたいと思っております。

幸い、矢澤先生には「七二会花いっぱいの会」の顧問としてご尽力を賜ることになりましたので、我々の夢が叶う事と意を強くしています。

そこで皆さんにお願いします！！みんなで七二会中を花の咲き乱れる心豊かな里にしましょう！！大勢の皆さん、あなたの、参加をお待ちしています！



ごあいさつ

七二会支所長 美谷島 計 男

市と住民自治協議会（住自協）では、毎年4月1日に協働に関する年度協定を締結しています

その年度協定により、住自協は、良好な社会の維持及び形成を行なっている団体のうち、市が認定した団体として、市と共に、住民の福祉の増進に向かって協働していくことになります。

住自協に市から「各地区で必ず行なわなければならないと考えている事業の事務（必須事務）」「行なったほうが良いかどうかを地区毎に選ぶことができる事務（選択事務）」を提示して、その事務を行なっていただいております。

それに対して、市では支所による事務支援の他に、財政支援を行なっております。財政支援には、必須事務の遂行に対して交付する「地域いきいき運営交付金」と中山間地域の住自協に交付される「やまざと支援交付金」があります。更に地区の課題解決を目指した提案に対して、選考委員会で採択された事業に支給される「地域やる気支援補助金」があります。

このように市と住自協とは、協働と支援を以って活動しておりますが、住民の皆様個人の自主的かつ自立的な行動と協力がなければ、地域づくりも進みません。これからも、住自協の活動にご支援とご協力をお願いいたします。

東日本大震災・県北部地震義援金 総額 781,000円



小区長各位のご協力を頂き募集された義援金は、日本赤十字社長野県支部にお届けしました。

4月26日、関係役員が訪問し日赤奉仕団七二会分団の山田智加子委員長から廣田事務局長に手渡されました。

皆様の温かいご協力ありがとうございました。被災地の一日も早い復旧復興をお祈り致します。



平成23年度 部会の主な事業計画

平成23年度の各部会の事業のうち、新規に取り組む事業や、重点的に取り組む事業を紹介します。

総務・安全・防災部会

- ① 七二会地区自主防災訓練の実施
- ② 災害時要援護者支援体制の充実
- ③ 東日本大震災・長野県北部地震義援金募集

地域振興・環境部会

- ① 農家民泊事業に取り組む
- ② 「七二会花いっぱい運動」の推進
- ③ 七二会活性化のための検討
チームの立ち上げと運営
- ④ 陣場平山トレッキングコース整備と大会の充実
- ⑤ 有害鳥獣対策
 - ・熊等の出没情報・被害状況の情報収集とデータ化
 - ・くくりわなの狩猟免許の取得促進



健康・福祉部会

- ① 健康講演会の開催
- ② 地域福祉活動計画の推進
 - ・「地域たすけあい事業」
 - ・「草刈・除雪支援事業」
 - ・お茶のみサロンの充実
 - ・一人暮らし高齢者の見守り推進（月2回程度）
 - ・冬季健康講座の開催
 - ・健康に関する情報発信・健康に関する事業への協力



教育文化部会

- ① 人権同和教育住民大会の開催
- ② ふるさとづくり市民運動会
 - ・楽しんで参加頂ける市民運動会を企画検討
- ③ 郷土歴史資料館の企画事業
 - ・七二会の山城の調査研究

平成23年度 七二会地区住民自治協議会予算

収入予算額	9,713,300円
支出予算額	9,713,300円
差引残高	0円

平成23年度 3月29日提出 同日決議

単位：円

収 入 の 部		
大 項 目	平成23年度	平成22年度
1 会費収入	1,377,500	1,349,000
(1) 会 費	1,377,500	1,349,000
2 負担金収入	500,000	500,000
(1) 地域負担金	500,000	500,000
3 公的補助収入	5,943,000	4,821,000
(1) 地域いきいき運営交付金	3,930,000	3,050,000
(2) 事業補助	2,013,000	1,771,000
4 配分金	230,000	230,000
(1) 配分金	230,000	230,000
5 雑収入	76,800	76,690
(1) 雑収入	76,800	76,690
6 繰入金	1,000	1,000
(1) 繰入金	1,000	1,000
7 前年度繰越金	1,585,000	1,474,175

支 出 の 部		
大 項 目	平成23年度	平成22年度
1 総務費	3,450,000	2,396,000
2 区長会費	650,000	630,000
3 防犯協会費	174,000	174,000
4 交通安全推進費	80,000	80,000
5 地域福祉推進委員会費	2,766,000	2,726,000
6 保健補導委員会費	230,000	230,000
7 環境美化推進費	30,000	75,000
8 活性化委員会費	470,000	100,000
9 人権同和教育促進委員会費	258,000	253,000
10 地域公民館連絡委員会費	261,000	261,000
11 地公連スポーツ事業費	272,000	272,000
12 青少年健全育成委員会費	599,000	641,000
13 郷土歴史資料館運営委員会費	164,000	164,000
14 繰出金	205,000	5,000
15 予備費	103,300	444,865
16 積立金	1,000	0
支 出 総 額	9,713,300	8,451,865

収 入 金 額 9,713,300 8,451,865

「七二会住自協検討委員会」設立

住民自治協議会体制が本格稼働して1年経過しましたが、検討が必要な事項や課題を速やかに改善していく必要があります。

そこで、具体的に課題等を諮詢し、それに対して今後を睨み望ましい姿や方向性を答申して頂くことを目的に「七二会住自協検討委員会」を設立しました。

メンバーは、地区内の経験豊かな有識者11名に委嘱し、4月13日に第1回委員会が開催され委員長に吉原登氏、副委員長に峯村敬一氏にご就任頂きました。

既に一部中間答申を頂き、平成23年度の活動に反映されています。最終答申は8月末ごろを目途に進められています。この答申は最大限尊重し推進することと考えています。

七二会住自協検討委員会メンバー

1 区	太田 志郎	6 区	*
2 区	峯村 敬一	7 区	吾妻さち子
3 区	石坂東洋一	8 区	吉原 登
4 区	小林紀美子	9 区	塚田 昌穂
5 区	北島 貢	10 区	宮下袈裟文
			農業委員 渡辺 昌孝

* 6区委員の宮澤兵衛氏は急逝されましたが、後任の選任は行いません。

既に一部中間答申を頂き、平成23年度の活動に反映されています。最終答申は8月末ごろを目途に進められています。この答申は最大限尊重し推進することと考えています。



七二会児童クラブから七二会子どもプラザに

七二会子どもプラザ施設長 小池 一秀

本年度より七二会小学校校区において、「長野市版放課後子どもプラン」を実施することになり、今までの七二会児童クラブは、「七二会子どもプラザ」と名称を改めました。平成16年6月8日に「七二会児童クラブ」が発足されながら、放課後の子ども達の安心・安全な居場所として、小学校南校舎3階の会議室・図書館・体育館を利用し、登録児童たちが楽しく遊びや学習（宿題）、運動を行ってきました。

児童クラブが「子どもプラザ」となっても運営方針に大きな変更はなく、毎週月曜日から金曜日の放課後と土曜日・長期休業日に開設しています。今年度は1年から6年までの全児童63名がプラザ登録となり、専属の職員9名（施設長、指導員3名、代替指導員5名）が児童の指導に努めています。

今年度より子どもプラザでは遊びや学習の他に、アドバイザー（長野市教育委員会に登録されている方）による様々な体験活動を通じて、交流活動のマナー・体力・創造力の向上を図るように計画しています。地域の方によるアドバイザーも募集しております。皆さんの特技（竹トンボ作り、将棋、昔の手遊び、手品、茶道など）を生かした指導で、「地域の子どもを、地域で育てる」ことに一層のご協力を願いいたします。



アドバイザーによる楽しい体験学習
(マジック・腹話術)

七二会子どもプラザ 電話 229-2084 有線 2003



田植え体験

七二会地区で、都会の子供たちの農家民泊（修学旅行）の受け入れ事業が始まりました。

民泊受け入れは、隣接する信里地区の「信里食育体験民泊受け入れの会」の依頼を受けて、信更地区と共に協力する形で行われました。

昨年から岩草区での説明会、鬼無里地区への視察研修、七二会地区全体の事前説明会等を経て態勢を整えてきました。

5月12日～6月17日までの間、大阪の中学校9校の生徒が信里、信更、七二会に分宿し、七二会は延べ226名の生徒を23世帯が受け入れました。

各家庭で田植え、野菜の種蒔き、竹の子採り、山菜採りなどの農作業と普段味わえない田舎生活を体験し交流を深めました。

「農作業などを通じて都会の子供たちと心のふれあいが図れたことは有意義だった」「おやきづくりが大変盛り上がった」「受け入れ前は大変

だと思っていたが、明るい子どもたちに引き込まれ楽しかった」などの感想が寄せられました。

七二会地区代表の吉原正氏は、今回の成果を踏まえ七二会独自の受け入れ組織の設立と、安定的に継続するためには受け入れ家庭を増やしたいと意気込みを語っておられました。

●役員

役職	氏名	所属団体・役職
会長	石坂和夫	区長会 会長
副会長	青木明夫	区長会 副会長
	小池かね子	福祉推進員会 会長
	北澤善仁	人権同和教育促進委員会 委員長
会計	石坂広喜	区長会 会計
部会長	青木明夫	区長会 副会長
健康福祉部会	太田志郎	地域福祉推進委員会 委員長
地域振興環境部会	太田正彦	地域活性化委員会 会長
教育文化部会	北澤善仁	人権同和教育促進委員会 委員長
監事	石坂東洋一	商工会七二会支部 支部長
	小林勝	老人クラブ連合会 会長

●顧問・相談役・有識者

役職	氏名	所属団体等
顧問	小林紀美子	長野市議会議員
	渡辺昌孝	長野市農業委員
相談役	塚田昌穂	H20住民自治協会会長
	宮下袈裟文	H21住民自治協会会長
有識者	峯村敬一	元社会福祉協議会会长
	鈴木睦人	元民生児童委員協議会会长
参与	山本善幸	前総務安全防災部会長
	太田三都雄	前教育文化部会長

※部会長が1ヶ年で退任する場合、翌年度は参与とすることになりました

住自協は2年目を
迎えました

引き続きご支援を

住民自治協議会会長 石坂 和夫

昨年に引き続き住民自治協議会長の任に当たることとなりました。4月26日の総会で今年度の事業計画が決定しましたが、特に今年は、息の長い事業展開となる「七二会花いっぱい運動」がスタートし、長野市の補助金が採択されたこともあり、この事業に注力をしていきたいと考えています。改めて、大勢のご参加をお願いいたします。

住自協は本格稼働し一年経過しました。この段階で浮上した課題について、「七二会住自協検討委員会」から答申を頂くこととなっています。その答申に沿って改善に努めてまいりたいと存じます。また、昨年のアンケートにも示されているような手付かずの課題が山積していますが、解決のための手懸りを付ける努力をしたいと考えています。

改善改革や新しい取り組みには、住民の皆様のご理解とご支援がなければ絵に描いた餅に化してしまいます。引き続きご支援をお願いいたします。

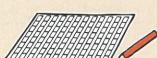
事務
局員
紹介

中山 徳子(瀬戸内)

4月からお世話になってあります。
よろしくお願ひいたします。
※事務局は宮沢香織と2名交替制です。



編集後記



今年から年3回の発行になります。より皆様のご意見を反映した紙面にしたいと存じます。どうぞお声をお寄せ下さい。お待ちしています。

編集委員：小池義久 植松栄一 宮下弥子
宮澤香織 山中徳子

●評議委員

氏名	団体名
青木明夫	瀬戸内区長
小池義久	坪根区長
石坂和夫	倉谷区長
太田丈夫	五十平区長
北島幸夫	古間区長
吉澤茂幸	平出区長
石坂広喜	橋詰上区長
朝日英明	岩草区長
植松栄一	大安寺区長
酒井今朝則	笹平区長
山本日出男	交通安全協会
宮下弥子	白バラ会
内川隆明	消防団七二会分団
石坂和夫	防犯協会
山田智加子	日赤奉仕団七二会分団
太田志郎	地域福祉推進委員会
宮澤光	保健補導員会
小池かね子	福祉推進員会
石坂邦洋	民生児童委員協議会
小林勝	老人クラブ連合会
鈴木敏	身体障害者福祉協会
太田正彦	地域活性化委員会
石坂東洋一	陣場平山トレッキング実行委員会
青木明夫	有害鳥獣対策委員会
松本好貴	特別植林組合
石坂東洋一	商工会七二会支部
石坂正	農家組合
宮崎一成	農協西部支所
北島和彦	地域公民館連絡委員会
北澤善仁	人権同和教育促進委員会
久保田克文	青少年健全育成委員会
石坂尚	郷土歴史資料館管理運営委員会
島田正実	小中学校PTA
戸谷光博	文化芸術団体連絡委員会
宮澤俊弘	体育指導委員会

震災日 2011年3月11日 → 11,311円

(メッセージ)

震災により亡くなられた皆様の御冥福をお祈りしております。

被災された避難所生活等の皆様には
御見舞を申し上げると共に、一日も早く
元気で楽しい生活を取り戻すこと
願い復興への寄り添い進みますよう
お祈りいたします。

高齢者の私にできることは、募金ぐらい
しかありません、募金箱への心配はいたし
ませんが、今日は自治会を通じて僅少では
ありますが、震災日を記憶に留めため
11,311円を募金いたします。

義援金に匿名で添えられていた心温いメッセージ